

しがの農 × 福通信

令和4年(2022年)12月第19号

発行者：滋賀県農政水産部みらいの農業振興課

今回は、農業者と福祉事業所が共同で開催する、農福連携マルシェの取組をご紹介します。

人と人とのつながりが生まれる場所「HOURAIマルシェ」

毎月第一日曜日に開催される「HOURAIマルシェ」は、JR蓬萊駅から徒歩5分ほどの琵琶湖を望む一軒家を改装した就労継続支援B型作業所「蓬萊の家共同作業所」が会場です。マルシェは令和2年に初めて開催され、今年で3年目となりました。

取材の日、出店している店舗は、野菜、お菓子、生花、古道具など、バラエティ豊かで、出店者の中には、就農して数年目の若い農業者の方や大学生の方もいらっしゃいました。また、会場では女性移住者のトークイベントも開催され、お客さんも出店者もスタッフも、それぞれのスタイルでマルシェを楽しまれる姿が印象的でした。

後日、マルシェを主催されている「蓬萊の家」の西翔太さんと「ひら自然菜園」の加地玄太さんにお話を伺いました。



蓬萊の家 管理者 西 翔太さん
ひら自然菜園 代表 加地 玄太さん

● マルシェが始まったきっかけ

マルシェの始まりは、加地さんと西さんの出会いがきっかけです。地域で開催されている里山めぐりのイベントで出会ったお二人、偶然にも同じ中学校・高校の出身であることが判明し、距離が縮まったそうです。



新鮮な野菜がいっぱいです♪

お互いの取組について話す中で、施設の利用者の方が外部の方と接する機会を増やしたいと考えていた西さんの想いと、消費者の方に土に触れてもらう機会を提供したいという加地さんの想いが一致し、蓬萊の家に隣接する遊休地を利用して共同でシェアファームを開設することとなりました。

このシェアファームを運営していく中で、地域の人々が交流する場をもっと作ろうと始まったのが「HOURAIマルシェ」です。

● みんなでつくるマルシェ

「HOURAIマルシェ」は蓬萊の家とひら自然菜園が主催し、加地さんがまとめ役を務める大学生を中心とした実行委員会が運営を担い、蓬萊の家の利用者の方もスタッフとして参加されています。

毎回約200名の参加者があるそうですが、多くのスタッフの方が駐車場の整理や入り口での受付などを分担し、スムーズな運営を支えておられます。

● マルシェへの想い

加地さんは、「東日本大震災でのボランティア経験もマルシェを始めるきっかけになっています。被災地では、人と人がつながり、助け合う場面を多く見ましたが、このつながりや助け合いの土壌は、おそらく震災以前から地域にあったのではないかと感じました。今はインターネットでのつながりが多くなっていますが、やはり対面での交流も大切だと思います。だからこのマルシェは、誰が来ても入れるオープンな場にしたいと思って運営しています。マルシェという緩やかなつながりのコミュニティをきっかけに、また新たなつながりが生まれてくれたら嬉しいです。」とおっしゃっていました。



どのお花にしようか迷います♪

西さんは、「利用者の方が一般の方と接点を持つ機会を作りたいと思い、加地さんと共にマルシェを始めました。人は、自分が経験した範囲を超えて物事を想像することは難しいと思います。障害のある方を含め、多様性を認め合う社会づくりには、多様な背景を持つ人の存在を知り、関わる必要があります。このマルシェは多様に触れることができる場所だと思います。また、マルシェでは、利用者の方が実行委員会のスタッフや出店者になることで、『してもらう』存在から『誰かのために自分がする』存在となることができる場です。支援されることの多い利用者の方が、『ありがとう』と言われる機会を設けるよう心掛けています。」と、お話しくださいました。



マルシェで特に目を引くのが「蓬菜の家」の利用者の方の作品です。鮮やかに塗られたスニーカー、アクセサリ、刺繍が施されたカバンや洋服等、利用者の方の特技を生かした作品がたくさん並びます。

持ち込んだカバンなどにその場で刺繍してもらうことも可能です！

● ひら自然菜園について

加地さんは平成 31 年に大津市八屋戸で農業経営を開始され、「ひら自然菜園」として、年間約 50 種類の野菜を農薬や化学肥料をできるだけ使用せずに栽培されています。

今年で就農 4 年目となる加地さんですが、もともとは農作物を栽培することよりも、農業をツールとして人と人とを繋げることや、社会の課題を解決することに関心があり、大学の農学部では国際協力について学ばれました。



大学卒業後は農業土木関係の会社に就職されましたが、就職後に読んだホームレスの就労支援を行う農福連携の書籍に衝撃を受け、著者が運営されているシェアファームを利用するなど農業の道へと少しずつ進まれました。最終的に農業に携わっていかうと決意され会社を退職。東近江市の有機農法に取り組まれている農園で 3 年間研修を受けた後、地元の湖西地域で就農されました。

就農当初は土地が畑作に向いているかどうかわからず、さらに新型コロナウイルスの流行をきっかけに、当初考えていた市場への出荷ができなくなり、既存のビジネスモデルを考え直さざるを得なくなりました。そんななか、地域の方から



今ある野菜を売ってほしいと言われたことがきっかけで野菜の詰め合わせの定期販売が始まり、地域のホテルやレストランへも販路を拡げていかれたそうです。化学農薬や化学肥料を使わない栽培のため、大量生産は難しいですが、ホテルやレストランなどの需要は「大量に安定的に」から、「この土地で今の時期に食べられるもの」へと変化してきていると手ごたえを感じておられます。

また、地域で出る生ごみの堆肥化にも興味をもっておられ、「社会情勢の影響による肥料高騰の問題もありますし、外部に頼ってきた部分をなるべく減らし、自分たちの地域で農や食のサイクルを回していけたらと思っています。」とお話しくださいました。

シェアファームの運営を始めたいと思ったのは、農業を通して感じる自然の良さ、豊かさをもっと多くの人に知ってもらいたいという気持ちからだそうで、「消費者と農業の距離をもっと近づけていけたらいいなと思います。」と、おっしゃっていました。マルシェで「シェアファーム」を知り、シェアファームを経て新規就農した人もいらっしゃるそうで、今後は、ご自身の農園でも見学者を受け入れ、地域で就農する人を増やしていきたいと語っていただきました。

● 「蓬莱の家」について

「蓬莱の家」は、有志による共同作業所として設立され、平成 20 年に就労支援 B 型事業所として指定されました。平成 30 年に西さんが管理者として着任後は、米粉を使った加工品の製造・販売に加え、利用者の方の芸術分野での才能を活かした作品の販売も開始されました。

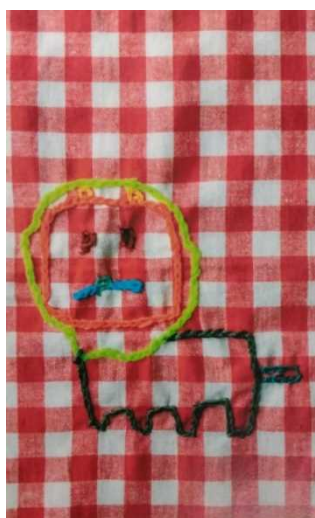
福祉事業所では、既存の作業の中から利用者の方がそれぞれに合ったものを選択される場合が多いですが、蓬莱の家では、それぞれの得意なことややりたいことを「仕事化」することを目指されています。利用者の方が製作された刺



繍や絵などが作品として評価され、ふさわしい価格で取引されるよう、ギャラリーでの個展なども開催されているそうです。

また、利用者の方が描いた絵を加工品のパッケージに採用することで、気軽に作品を手にとってもらえることができるようになるとともに、個性的なデザインがお客さんにも人気で商品の売り上げアップにも貢献しているそうです。最近では、利用者の方が講師となり子供たちに作品作りを教えるワークショップ「ホウライスコレ」も開催されており、利用者の方が教えたり、伝えたりする活動も増えています。

この他、平日にはカフェも開店されており、地域の方がドリンクやケーキなどを食べながら休憩し、利用者の方と自然に交流を持たれています。また、利用者の方はシェアファームの除草の手伝いや農機の貸し出しなど、シェアファームの運営にも携わっておられ、日常的に外部の方と触れ合う機会につながっています。



西さんの名刺の裏面にはキュートな動物が！

シェアファームの設置とマルシェの開催をきっかけに、蓬莱の家はこれまで以上に地域に開かれた場所となりました。今では、マルシェの実行委員である学生が、マルシェ以外の

時間も気軽に「蓬菜の家」を訪れるなど、自宅と学校以外の第三の居場所となっているそうです。



蓬菜の家では、利用者の作品をモチーフにしたパッケージデザインにも取り組まれています。ご興味のある方は、ぜひ蓬菜の家へご相談ください！

● 今後取り組んでいきたいこと

加地さんと西さんは、現在、野菜の加工施設の整備を構想中です。加工施設を整備することで、地域で収穫された規格外の野菜などを一元的に加工・販売し、ゆくゆくは地域の有機野菜をブランドとして確立していきたいと加地さんはおっしゃっていました。

また、西さんは未就学児から高齢者まで誰もが集まることができる場所も作りたいと考えておられます。加工施設とともにみんなが集まれる施設を整備し、食事・学習・体験活動ができ、すべての人が気兼ねなく集まることができる居場所を作りたいと、語ってくださいました。

<各お問い合わせ先>

● 蓬菜の家共同作業所

住所：大津市南船路 271-1

TEL:077-592-0185

Instagram



Facebook



● 蓬菜の家 café

営業時間：平日 10:00~15:00

● HOURAI Share Farm

Instagram



● ひら自然菜園

住所：大津市八屋戸 2020-20

Instagram



Facebook



● HOURAI マルシェ

住所：大津市南船路 271-1

毎月第1日曜

午前9時~午後1時

(時間は季節によって変動。)

Instagram



~滋賀県からのお知らせ~

「しがの農×福ネットワーク」に御賛同いただける個人・団体等を募集しています！

詳しくはこちらから県ホームページをご覧ください。⇒

